

東京藝術大学と京成電鉄 「連携・協力に関する包括協定書」を締結

国立大学法人東京藝術大学（所在：東京都台東区、学長：澤 和樹、以下「東京藝大」）と京成電鉄株式会社（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生、以下「京成電鉄」）は、6月26日（月）に「国立大学法人東京藝術大学と京成電鉄株式会社との連携・協力に関する包括協定書」を締結し、今後、産学連携の取り組みを推進して参ります。

東京藝大は、京成沿線である上野にキャンパスを有する、国内で唯一の国立総合芸術大学であり、芸術に関する教育研究の中核機関として日本を代表する多数の傑出した芸術家を輩出するとともに、日本の芸術文化の継承・発展に寄与してきました。

また京成電鉄では、2016年度よりスタートした中期経営計画「E3プラン」の基本戦略として「沿線エリアの魅力向上」を掲げ、その一つとして京成上野駅のリニューアルなどを推進しております。

このたび、東京藝大と京成電鉄では、文化・観光の振興等の分野で緊密な協力関係を築き、地域社会の発展、ひいては日本の芸術文化の振興を図ることを目的とし、京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関して連携・協力を推進することに合意し、包括協定を締結することとなりました。

今後、本協定に基づき、京成エリアの魅力向上に資する活動に共同で取り組み、地域社会の発展に寄与して参ります。

本件の概要は次頁のとおりです。

「国立大学法人東京藝術大学と京成電鉄株式会社との
連携・協力に関する包括協定書」の締結について

1. 協定書名 国立大学法人東京藝術大学と京成電鉄株式会社との連携・協力に関する包括協定書
2. 締結日 2017年6月26日（月）
3. 内 容 ①文化・観光の振興等の分野で緊密な協力関係を築き、地域社会の発展、ひいては今後の日本の芸術文化の振興を図ることを目的とする。
②京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関して連携・協力を推進する。
4. その他 具体的な連携案件については、決定次第、発表いたします。

以 上